

# 京極のNPO法人

「きょう・ここ」と町社協のメンバー。助け合いの取り組みが評価された



## 「きょう・ここ」福祉優秀実践賞

【京極】地元NPO法人「きょう・ここ」が本年度の道地域福祉学会「地域福祉優秀実践賞」を受賞した。高齢者を中心とした町民自身が福祉や介助関連のサービスを担い、支えられる側を受賞した。高齢者を中心とした町民自身が福祉や介助関連のサービスを担い、支えられる側を受賞した。高齢者を中心とした町民自身が福祉や介助関連のサービスを担い、支えられる側を受賞した。

### 「高齢者も互いに助け合い」評価

協議会が母体となり、2017年4月に町の中心部の空き家を活用し拠点を開いた。賞は社協と合同で受けた。

町内の高齢者を中心に約70人の会員が登録し、誰でも集えるコミュニティカフェや、介護保険が効かない雪かきや草むしりなどの困りごとを会員が有償で行うサービスをしている。

拠点施設はマーシャンや花札などの社交の場でもあり、週1回のパンの訪問販売も人気。町京極の山田道子さん(83)は「毎週のパン屋が楽しみ」と話す。

「きょう・ここ」事務員の天沼みゆきさん(40)は「高齢者の外出が難しい冬場は、買い物や通院の支援など身近な相談が増えている」と需要を実感している。町社協の柳原保会長は「過疎化が進む中、町に暮らす人同士でどこまで支え合えるかが問われる。受賞を機に会員の輪が広がってくれば」と期待する。

(桜井翼)